

第1 監査の種類

財政援助団体等監査（出資団体監査）

第2 監査の対象

名古屋ガイドウェイバス株式会社

（事務所所在地：守山区竜泉寺二丁目 301番地）

住宅都市局

第3 監査の着眼点

- 1 会計経理は適正に行われているか
- 2 経費節減の取組は十分に行われているか
- 3 財産は適切に管理され有効に活用されているか
- 4 市の借入金の償還は計画的に行われているか
- 5 経営健全化に向けた取組は適切に行われているか
- 6 市の補助金は補助目的に沿って適正に執行されているか
- 7 市からの受託事務は適正に行われているか
- 8 運行管理は適切に行われているか

第4 監査の実施内容

1 実施時期

令和 5年 6月 2日から令和 6年 3月27日まで

2 実施方法

今回の監査は、名古屋市監査委員監査基準に基づき、主として令和 4年度（令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで）に執行された名古屋ガイドウェイバス株式会社（以下「ガイドウェイバス株式会社」という。）の出納その他の事務について、書類等突合などを試査により実施し、必要な事項については実査を実施した。なお、近年、全国的にインターネットバンキングを利用した不正が発生していることを踏まえ、その管理体制について重点的に監査を行った。

また、ガイドウェイバス株式会社に対する財政援助団体等監査に併せて、住宅都市局所管の事務のうち、ガイドウェイバス株式会社に対する事務の執行につい

て、書類等突合などを試査により実施した。

なお、監査にあたっては、監査法人に業務の一部を委託した。

第5 監査結果

上記のとおり監査した限りにおいて、特に指摘すべき事項はなかった。

第6 意見

経営健全化方針に基づくガイドウェイバス株式会社への指導・監督について

ガイドウェイバス株式会社においては、平成31年 2月に策定された経営健全化方針に基づき、経営改善に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響が生じた令和元年度以降、次表のとおり、4年連続で経常赤字を計上している。こうした状況の中、本市は、長期貸付金である建設資金等の返済の猶予を継続するとともに、令和 4年度には、名古屋市ガイドウェイバス設備改修費等補助金等を交付したところである。

現行のガイドウェイバスシステムは、特殊な車両を使用しており調達が困難であるため、需要に応じた柔軟な増車ができず輸送力に限界がある上、通常の路線バスにはない駅施設や運行管理システムといった設備の維持・更新に多額の費用を要するという構造的な課題を抱えている。

これらの課題を踏まえ、本市及びガイドウェイバス株式会社では、現行車両が更新時期を迎える令和 8年度を目途として、運転支援等の自動運転技術を活用し、汎用性のあるバス車両を使用した新たな輸送システムの導入を目指しており、新型車両に必要な機能・性能の精査や、走行路をバス専用道に改修するための技術的方策等の検討を進めているところである。

地域に根差した公共交通機関として運行を継続していくためにも、ガイドウェイバス株式会社の経営安定化は喫緊の課題である。所管局である住宅都市局においては、経営健全化方針に基づき、新たな輸送システムの導入に向けてガイドウェイバス株式会社と一丸となって取り組むとともに、必要な指導・監督を行われたい。

表 ガイドウェイバス株式会社の経常利益の推移

区 分	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
経常利益	百万円 14	百万円 △17	百万円 △ 169	百万円 △ 163	百万円 △ 198

(注) 百万円未満の端数を切り捨てた。

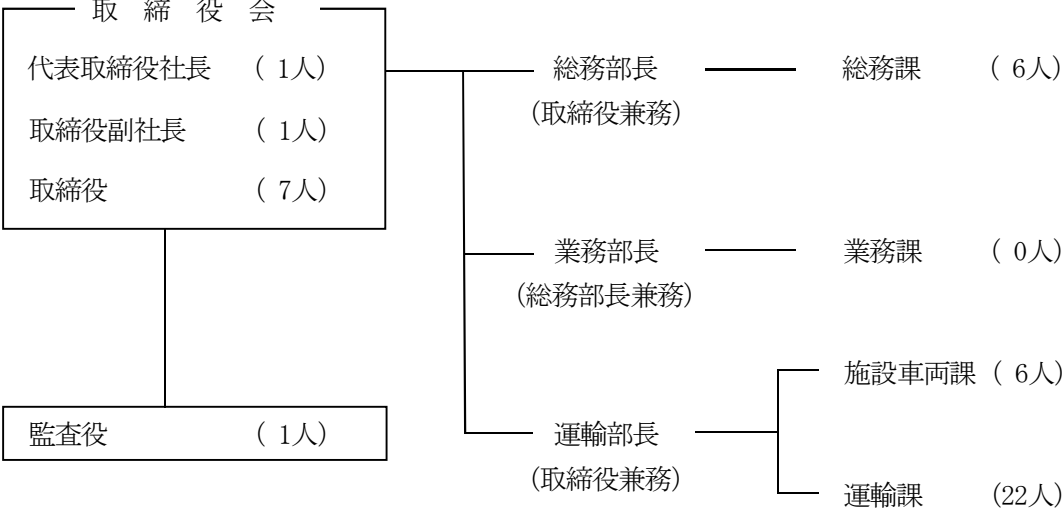
《参考資料》 監査対象の概要

1 出資団体の概要

- ・名 称：名古屋ガイドウェイバス株式会社
- ・所 在 地：守山区竜泉寺二丁目 301番地
- ・資 本 金：30億円（本市出資額は19億円であり、出資割合は63.3%（割合の表示未満の端数は四捨五入した。））
- ・主な事業内容：軌道法による運輸事業等
- ・職 員 数：34人（嘱託員 7人を含む。）
- ・機 構 図：次図のとおり

機構図

（令和 5年 3月31日現在）



2 本市からの財政援助等（令和 4年度）

- (1) 補助金 1億 2,022万円（名古屋市ガイドウェイバス設備改修費等補助金及び名古屋市ガイドウェイバス燃油価格高騰対策支援補助金）
- (2) 負担金 1,035万円（ガイドウェイバス志段味線インフラ外施設維持管理業務負担金）
- (3) 貸付金 17億 8,704万円（ガイドウェイバス志段味線整備事業費貸付金及びガイドウェイバス I C カードシステム整備事業貸付金）

（注）万円未満の端数を切り捨てた。

3 事業状況（令和 4年度）

(1) 運輸事業

高架専用軌道と平面一般道路をデュアルモードで連続走行するガイドウェイバス志段味線のうち、大曽根駅から小幡緑地までの高架区間における軌道法に基づく運輸事業の実施

(2) 附帯事業等

駅舎壁面及びバス車内における広告掲載事業、ガイドウェイバス関連グッズの製作・販売、エレベーター・エスカレーター等の市所有施設の維持管理、会社所有地における駐車場経営、社屋及び駅舎の一部の不動産賃貸等の実施

4 決算状況

(1) 損益計算書（令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月31日）

科目	金額
	千円
売上高	613,046
旅客運輸収入	511,406
運輸雑収	101,639
販売費及び一般管理費	825,541
営業利益	△ 212,495
営業外収益	14,982
雑収入	14,982
営業外費用	639
雑損失	143
雑支出	495
経常利益	△ 198,152
特別利益	120,225
補助金	120,225
特別損失	△ 47,114
固定資産圧縮損	△ 47,114
税引前当期純利益	△ 125,041
法人税等充当額	977
当期純利益	△ 126,018

（注）千円未満の端数を切り捨てたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(2) 貸借対照表 (令和 5年 3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
	千円		千円
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	162,232	1年以内返済予定長期借入金	787,046
貯蔵品	4,309	未払金	169,214
未収運賃	54,959	未払法人税等	8,567
未収金	131,788	未払費用	11,990
未収消費税等	5,940	運賃精算未払金	11,636
前払費用	1,755	前受運賃	38,355
流動資産合計	360,986	預り金	824
固定資産		前受収益	1,934
有形固定資産		流動負債合計	1,029,569
建物	151,074	固定負債	
構築物	6,900	長期借入金	1,000,000
機械装置	136,274	預り保証金	4,050
車両	11,999	退職給付引当金	12,860
工具器具備品	12,168	長期未払金	1,038
軌道	0	固定負債合計	1,017,948
土地	204,311	負債合計	2,047,518
建設仮勘定	1,927	純資産の部	
有形固定資産合計	524,657	株主資本	
無形固定資産		資本金	3,000,000
その他無形固定資産	0	利益剰余金	△ 4,155,326
無形固定資産合計	0	繰越利益剰余金	△ 4,155,326
投資その他の資産		利益剰余金合計	△ 4,155,326
差入保証金	1,318	株主資本合計	△ 1,155,326
長期前払費用	5,230	純資産合計	△ 1,155,326
投資その他の資産合計	6,548		
固定資産合計	531,205		
資産合計	892,191	負債及び純資産合計	892,191

(注) 千円未満の端数を切り捨てたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。